



日本慢性期医療協会 (指定研修機関番号：1513001)

第3回 特定行為研修修了者 **フォローアップ** 研修

【日程】2023年 **11** 月 **25** 日(土) 【開催方法】Zoomによるオンライン研修

当日本慢性期医療協会の「看護師特定行為研修」は2015年10月の制度施行と同時にスタートし、現在、285名の研修修了者を輩出しております。果敢に研修に取り組み、修了証を手にされた皆様のポテンシャルの高さは、すでに証明済みと言えるでしょう。しかし、その能力を発揮できる機会が少なければ、せっかく身につけた知識や技術は日ごとに失われてしまうのもまた事実です。

そこで、特定行為研修修了者を対象としたフォローアップ研修を開催いたします。

本フォローアップ研修では、特定行為研修の必須科目である「共通科目」の重要性を再確認し、日常起こり得る症例を詳細に検討することによって、特定行為実践におけるスキルの定着とさらなる判断能力の向上を目指してまいります。

是非とも多くの研修修了者の皆様にご参加いただければ幸いです。

【開催概要】

◇日程 令和5(2023)年11月25日(土) 8:55~18:00

◇開催方法 Zoomによるオンライン研修(ブレイクアウトセッション機能を使用)

*カメラとマイク機能のパソコンをご用意ください。(スマホ、タブレット端末での参加はできません)

*開催前にZoomの事前接続テストを予定しております。

◇参加対象 **看護師特定行為研修修了者**

***下記1~7の行為区分の特定行為研修をすべて修了していることを条件とし、終日の受講を必須とする(部分参加不可)。**

- 1.呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連
- 2.呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連
- 3.創傷管理関連
- 4.栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 5.感染に係る薬剤投与関連
- 6.血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- 7.精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

***過去に当協会のフォローアップ研修に参加された方もご参加いただけます。**

◇定員 80名 ※満席の場合は、参加申込用紙を受信後、平日3日以内にご連絡いたします。

◇参加費 日本慢性期医療協会 会員 8,000円(+消費税別800円)/人

非会員 15,000円(+消費税別1,500円)/人

*10月下旬頃、連絡担当者様あてに受講料請求書をお送りいたします。

*受講料お振込み後の参加キャンセルにつきましては、受講料の返金はいたしません。

◇申込締切 令和5(2023)年10月20日(金)

◇申込方法 「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

◇主催 **一般社団法人日本慢性期医療協会**

〒162-0067 東京都新宿区富久町1-5シャトレ市ヶ谷2階

TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122

E-mail: info@jamcf.jp ホームページ <http://jamcf.jp>

日本慢性期医療協会
第3回特定行為研修修了者フォローアップ研修（Web 開催）

プログラム

～オンライン上のペーパーシミュレーション・グループディスカッション～
「人工呼吸療法」「低栄養・脱水」「感染」「血糖コントロール」

【日程】令和5（2023）年11月25日（土） 【開催方法】Zoomによるオンライン研修

時間	分	研修内容
8:55	5	開講挨拶 矢野 諭（看護師特定行為研修委員会・委員長）
9:00 9:50	50	症例から学ぶ特定行為実践における共通科目の重要性 講師：矢野 諭（多摩川病院・理事長）
10:00 11:30	90	症例検討Ⅰ：呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 講師：田中雅輝（平成横浜病院・麻酔科）
11:40 13:10	90	症例検討Ⅱ：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 講師：井川誠一郎（平成医療福祉グループ・診療本部長）
13:10 14:00	50	昼食休憩
14:00 15:30	90	症例検討Ⅲ：感染に係る薬剤投与関連 講師：大串文隆（博愛記念病院・院長）
15:40 17:10	90	症例検討Ⅳ：血糖コントロールに係る薬剤投与関連 講師：伊井節子（介護老人保健施設平成アメニティ・施設長）
17:20 18:00	40	総括&意見交換、実施困難症例の検討 講師：矢野 諭（多摩川病院・理事長）
18:00		終了

《参考図書のご案内》

本研修の講師が執筆された新しい研修テキスト（3巻）を参考図書として推奨いたします。
具体的で実践的な解説となっており、研修修了後のフォローアップにも最適です。

編集：日本慢性期医療協会 発行：中央法規出版 刊行：2023年3月

『新版 看護師特定行為研修テキスト 共通科目編』

『新版 看護師特定行為研修テキスト 区分別科目編1』

『新版 看護師特定行為研修テキスト 区分別科目編2』 （テキストは各巻ごとに購入できます）

ご購入の場合は、別添のチラシをご利用ください。特別価格でお買い求めいただけます。

オンライン研修を受講いただくにあたって（受講要件）

○「Zoom アプリ」は、下記URL よりインストールをお願いいたします。

https://zoom.us/download#client_4meeting

※「Zoomアプリ」は、必ず最新版をダウンロードしてください。

最新版でない場合、ブレイクアウトセッション機能（グループ分け）の動作が遅いことがあります。



○パソコンはお一人様1台ご用意ください。スマートフォン、タブレットによる研修の受講はお断りいたします。なお、受講の申し込みをされていない方（未成年者やペットを含む）の同席はできません。

○パソコン本体のWindowsアップデートやウィルスソフトのスキャンなどは、事前にお済ませください。また、パソコンの音量調整方法もご自身でご確認いただくことをお勧めいたします。

○インターネット接続はより安定した「有線接続」（LANケーブル使用）を推奨しておりますが、Wi-Fi環境が整備されている場合は無線接続でも結構です。ただし、ご使用のパソコンの機能やインターネット接続の不具合により受講が頻繁に途切れた場合は欠席扱いとなり、研修の修了を認めることができません。

○研修の受講に集中できる環境（個室で静かな場所等）をご用意ください。他の用務をしながらの受講はお断りいたします。

○本研修では、Zoomのブレイクアウトセッション機能を用い、グループディスカッションを行います。

○1拠点から2名以上の方が受講される場合は、ハウリングにご注意ください。別室で受講いただくか、ヘッドセットをご利用いただき、十分な間隔を空けるなどの対策が必要です。

○オンライン受講においても、遅刻、早退、中抜け等がある場合は、研修の修了を認めることはできません。事前にご提出いただく顔写真と照らし合わせ、事務局のモニター上で受講を確認いたします。

○講習会当日、「Zoomアプリ」のチャット機能を用いて、個別に講師や他の受講者に連絡をとるのはお控えください。

○オンライン研修では、システムトラブルにより終了時間が延長する可能性もございます。ご自身のスケジュールには余裕をもって受講してください。

○当日の不測の事態への対応のため、ご登録いただきます携帯電話の番号にご連絡を差し上げることがあります。当協会（03-3355-3120）からの電話については、受講中であっても、受けください。

（携帯電話はお手元にご用意ください）

以上



FAX 送信方向 FAX. 03-3355-3122 (日本慢性期医療協会)

第3回特定行為研修修了者フォローアップ研修 参加申込用紙

(参加人数に応じ、本紙をコピーしてお申し込みください。)

〔申込締切〕 令和5(2023)年10月20日(金)

※10月下旬頃、連絡担当者様あてに参加票と参加費請求書をお送りいたします。

※満席の場合は、本参加申込用紙を受信後、平日3日以内にご連絡いたします。

〔参加対象〕 特定行為研修修了者

※下記1～7の行為区分の特定行為研修をすべて修了していることを条件とし、終日の受講を必須とする(部分参加不可)。

- 1.呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、2.呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、
- 3.創傷管理関連、4.栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、5.感染に係る薬剤投与関連、
- 6.血糖コントロールに係る薬剤投与関連、7.精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

※過去に、当協会のフォローアップ研修に参加された方もご参加いただけます。

下記に必要事項をご記入の上、該当する口にチェック✓をお願いいたします。

施設名

住 所

(〒 -)

TEL.

FAX.

連絡担当者

部署

E-mail

@

ふりがな 参加者氏名	
参加者の部署・役職	
修了した指定研修機関の名称	
修了年および認定番号	修了年:(西暦) _____年 認定番号: _____
<p>〈2023年8月1か月間の特定行為実施患者数〉</p> <p>①侵襲的陽圧換気の設定の変更()人/月、②非侵襲的陽圧換気の設定の変更()人/月</p> <p>③人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整()人/月、</p> <p>④人工呼吸器からの離脱()人/月、⑤気管カニューレの交換()人/月、</p> <p>⑥中心静脈カテーテルの抜去()人/月、⑦末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入()人/月、</p> <p>⑧褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去()人/月、</p> <p>⑨創傷に対する陰圧閉鎖療法()人/月、⑩持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整()人/月、</p> <p>⑪脱水症状に対する輸液による補正()人/月、⑫感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与()人/月、</p> <p>⑬インスリンの投与量の調整()人/月、⑭抗けいれん剤の臨時的投与()人/月、</p> <p>⑮抗精神病薬の臨時的投与()人/月、⑯抗不安薬の臨時的投与()人/月</p>	